

熊本県日中協会会報

平成20年(2008年) 4月10日 (木) 通刊70号

熊本県日中協会
会長 柏木 明

〒860-0846 熊本市城東町4-2 ホテルキャッスル2F
TEL 096-356-4847 FAX 096-325-2829

第26回 熊本春節祝賀会

平成20年2月6日、第26回熊本春節祝賀会が熊本ホテルキャッスルで開催された。春節祝賀会は在熊の中国人留学生・研修生を招待して中国の様式で春節(旧正月)を祝うもので、熊本県日中協会では毎年開催している。



春聯(しゅんれん)の飾り付けが行われた前面のステージ

今回は丁度この時期に、グランメッセ熊本開館10周年記念事業のため上海雑技団が来熊しており、同実行委員会と協力して雑技団の歓迎会もかねて行われたため、招待留学生・研修生が100名、雑技団員50名、一般参加者を含め総勢300名の盛大な祝賀会となった。



来賓挨拶

武樹民中国駐福岡総領事



来賓挨拶

潮谷義子熊本県知事



協力団体代表挨拶

藤井昭実行委員会会長



主催者代表挨拶

柏木明会長



カンペ〜イ(乾杯)



崎元達郎熊本大学学長の乾杯の音頭で祝宴が始まった。

春聯(しゅんれん)

鼠 歳 慶 隆 昌	萬象更新	子 時 開 新 運



大勢の参加者でにぎわった。

春聯とは、中国の習慣で、新春を祝い、瑞気を迎えるために、赤い紙にめでたい文句を書いて、門柱や部屋の入り口の左右に、対にして張るものです。今年の春聯は、「ねの刻になると、好運にめぐりあい、ねの年に入ると、繁栄隆昌を祝う」と、開運の年であることを詠んでいます。



乾杯の後、今年の春聯作者の王忠義先生が、説明を行った



雑技団員も餃子を楽しんだ。



恒例の手作り餃子実演コーナー。今回は2500百個の手作り餃子を用意して、参加者に振舞った。

アトラクション



当協会会員の日本高山少林拳
連盟の皆さんによる演舞



藤間流師範の藤間白扇さんと
門弟の藤間智扇さんの日本舞踊



上海雑技団の素晴らしい演技



留学生を代表して、崇城大
学の金勝男さんが謝辞を述
べた。



上海雑技団代表
陸星奇さん



一等賞が当たって喜びの挨拶をする留学生



空クジなしの抽選会。
参加した留学生・研修生
全員にお土産が渡された

賛助金をいただいた皆様

阿蘇製薬株式会社 小山美代子 柏木明 熊本華僑総会 熊本県創価学会 医療法人社団寿量会
崇城大学 日中友好熊本県議会議員連盟 医療法人社団高野会 株式会社肥後銀行 阿蘇熊牧場
鹿子木二人 株式会社銀染 近代経営研究所 くまさんメディクス 熊本朝日放送 熊本学園大学
熊本県医師会 熊本ホテルキャッスル 國米聰太郎 富島三貴 野田たけし事務所 野元正寿 真
鍋嘉人 村田洋吉 八木運送 山鹿市日韓親善協会 有江和代 サニー工業株式会社 谷脇ユミ子
武藤宏一郎 倉重剛 松本崇希 山田幸美

(敬称略、順不同)

協賛品をいただいた皆様

南九州コカコーラボトリング株式会社 水谷茂 R K K K A B 永野義孝 木原稔 熊本学園大
学 重光産業株式会社 熊本機能病院 株式会社九電工 小串照彦 株式会社鶴屋百貨店 中垣秀
夫 中原隆博 岩下栄一 T K U A N A N H K 原永次 唐津邦利 有江俊博 富島三貴 斉
藤直 崇城大学 J A熊本果実連

(敬称略、順不同)

その他の協力者・団体

春聯作成：王忠義 春聯文字：宮崎文成 受付協力：税理士法人未来会計事務所/東方中国語学院
餃子材料提供：熊本製粉株式会社/熊本大同青果株式会社

(敬称略、順不同)

春節祝賀会の際、上記の皆様方のご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

～ ～ ～ ～ ～ 舞 台 裏 ～ ～ ～ ～ ～



10数名の留学生や中国帰国者の皆さんに協力してもらい、三日がかりで2500個の餃子作り。



事務局に寄せられたた品物



床に広げて作業



留学生全員へお土産

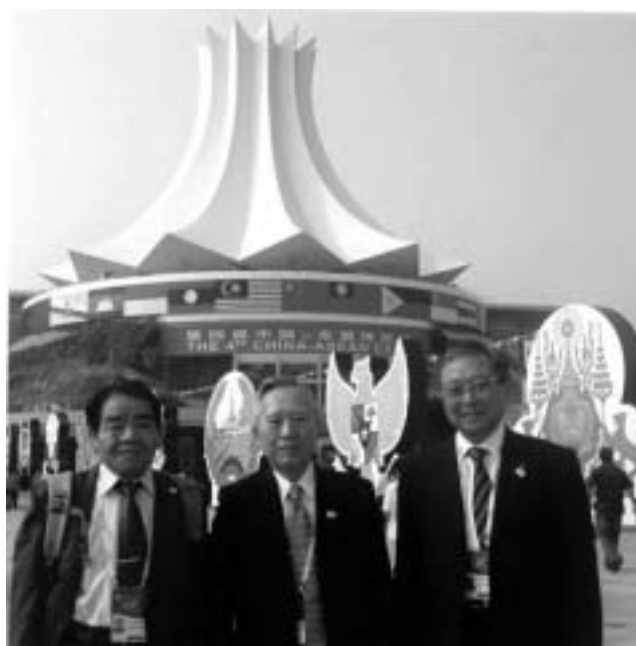
熊本県・広西壮族自治区友好提携25周年記念訪問団

平成19年10月28日～11月1日、標記の訪問団（金澤和夫副知事以下34名）が広西壮族自治区や上海を訪れ、企業や商業地の視察、政府機関への表敬訪問などを行い、当協会からは柏木明会長など5名が参加した。

一行は、広西壮族自治区の区都、南寧市では「第4回中国 - A S E A N博覧会」を視察、防城港市やベトナム・モンカイ市の視察も行った。

中国 - A S E A N博覧会場にて
左から中村繁実理事、柏木明会長、
佐藤征紀理事

訪中団に参加した当会の中村繁実理事の紀行文を紙面の最後に掲載しています。



熊本国際交流祭典



パネル部門では、日中国交正常化35周年、孫文と宮崎滔天、協会の活動などをテーマにパネルを展示。

グルメ部門では、中国茶芸の実演と、淹れたての茉莉花茶を販売。

平成19年10月28日、熊本県国際協会主催の熊本国際交流祭典が熊本交通センターコートで開催され、当協会も参加した。



一九七二年当時の田中内閣による日中国交回復以来、今年は三十五周年の節目にあたって国家及び地方公共団体並びに民間各種団体それぞれのレベルでの記念行事が行われている。

熊本県では広西壮族自治区との友好提携二十五周年を記念して10月28日から11月1日の四泊五日訪問団を派遣して現地視察、意見交換などをやって相互理解をいっそう深めて新たな経済文化交流の礎を築いた。訪問団は熊本県日中協会代表、熊本県庁熊本県議会代表、県下の企業代表、熊本大学混成団で現地では、それぞれの目的に分かれて別々に訪問した。

中国全土どこへ行っても規模の差異はあっても共通に見られる風景、高層ビル、豪華マンションの建設、高速道路の整備、大型店舗の出店、とてつもない工場の進出・・・等等訪ねた南寧、防城港、東興どこでも見うけられた。それぞれの訪問記は別稿に譲ることにして、今回は訪問するちょうど1週間前に閉幕した中国共産党第十七回全国代表大会の報告を解説しながら訪問先の実情実態について語ってみることにしよう。

今まで選択された中央委員会報告書では胡錦濤総書記のかねてからの自論である「科学的発展論」を党規約に盛り込ませることによって、党指導の下での持続可能な発展を胡総書記独自の方針として表明している。過去5年の経済的成果はマルクス主義の成果だったし、マルクス主義の新たな発展段階にある。これからの5年は科学的発展を徹底していく・・・中央委員会政治報告を読んででも不可解で人間本位の統一的政策と記しているだけで中味は分からない。

一九七八年の改革開放政策以来、鄧小平の「先富論」江沢民の「成長優先論」に踊らされて急速な高度成長を遂げたがその結果もたらされた社会的ひずみの是正策として科学的発展という概念が導入されてきたとしか思えない。南寧市の街を埋め尽くす高層ビル群、豪華マンションを夜見ればわかることだが灯が付いているのは三分の一以下である。不動産投資目的で建設されているとしか思えない。上海でも同じことが言える。空きマンション、空きビルがなんと多いことか。この事実は中国全土で言える。今回の政治報告書でも「現状は人民の期待とはほど遠いとして・・・」克服しなければならぬ政治・経済的、社会的問題を提起している。

- ・経済成長における資源、環境への過剰負担
- ・都市と農村間、地域間不均衡
- ・農民の収入拡大の困難
- ・思想・道徳の混乱

などに加えて、最近の環境破壊、食品汚染などもとりあげている。

今回の訪問先広西壮族自治区はASEAN諸国との窓口で中国政府が進める西部大開発の重要拠点で南寧市は国家レベルの工業団地がどんどん整備されてハイテク企業の外資導入も進められて、一見華やかに見えるが、防城港市東興市いずれも農民たちから土地強制収奪で抗議行動、暴動が頻発したところである。表面的な経済発展の陰には人権蹂躪、官による資産強奪事件、司法の保護をうけることなく暴力的に決着をつけていく権力構造の存在がある。開発という名の下で土地を奪われた極貧状態の農民の姿は見うけられなかった。中国は所得格差、経済格差が拡大再生産されているし、地域的不均衡発展は深刻なほどに進行している。多くの訪問者がみたデラックスな高層マンションの一階は零售店と言って商店をなしているが経営者は6ヶ月、一年おきにぐるぐる変わっているのが現状である。小中型店からはき出された若者の失業率は高く、今回引率してくれた中国人添乗員は異口同音失業率は20%近いと言っていた。林立する建物、道路、港湾設備だけをみて“ほほう。中国経済の発展はすざましい”と感嘆してしまうのは早計である。目で見た中国経済の現象面と実体との間には埋め合わすことのできないマイナスの産物があるのだ。前述した通りだが第十七大会での胡錦濤総書記のこれからの5年の方針は科学的発展論に集約される(その内容については明言していない)これまでの高度経済成長の負債を前面的に出して、人民の期待にこたえていないと素直に反省している。手直していく手段として科学的発展という概念を導入したのであろうが、一般に科学的という時にはそれは普遍性と法則性を持ち合わせていることが重要である。鄧小平の先富論江沢民の成長優先論に対峙する概念として胡錦濤はとりだしてきたと思える。一国の国力は経済力、軍事力だけでなく国民の豊かな文化力(知性教養、質の高い生活力)だという認識の下で軟実力(ソフトパワー)という言葉をはじめて使用して中国が量から質への発展方向を示したものとして注目していいだろう。(2007年12月16日)